# 謹賀新年



笑う門には福来る。

松山市勝山町1-18-10
（株）日本交通社
TEL（089）946-3911
発行人：中村剛志

坂村真民記念館（砥部町）

## 明朗・愛和・喜働

### 薮入り

江戸時代に広がった風習に、「薮入り」というものがあります。

旧暦の一月十六日と七月十六日がその日に当たり、商家などで住み込みで働いている奉公人が、実家へ帰ることができる日でした。

昔は奉公人に定休日はなく、年に二回だけ、実家に帰る日を与えられたのです。奉公先の主人は、奉公人に着物や小遣いを与えて実家に送り出し、実家では両親が、子供のためにご馳走を作って、楽しみに待っていたそうです。

古典落語の「薮入り」は、長屋の熊五郎の息子・亀が、三年ぶりに奉公先から帰ってくる話です。熊五郎は、息子の帰りが待ち遠しくて落ち着きません。

食べたいものは何でも食わしてやれ、日本中あちこち連れて行ってやれ、などとおかみさんに言います。実際に帰ってきた息子はすっかり大人びて、親は胸が詰まって涙で顔を見られない…と話は続きます。

昔も今も、親が子を思う気持ちは変わらないものです。わが子に久し振りに会うのであれば、なおさら世話を焼きたくなるのが、親というものなのでしょう。

●両親に思いを馳せましょう

「職場の教養」より

## 宇和ちゃんの啖呵!!短歌

参る者参りし者が向き合いて
信号青となるのを待ちおり

幼き日せがみて飼いし犬ならむ
老いたるを引き青年がゆく

## 秋田 緑の言の葉カード

★「言の葉ネットショップ」から購入できます。
http://greenti.shop-pro.jp

## 保親さんの人生万感

北風に向いて立てる石鎚に
初春の夢そっと語らん

お年玉孫の笑顔を思いつつ
妻は五つの袋をつめる

道しるべ

## ○礼儀は体で表す言葉なり

お辞儀は日本が誇る最高の礼儀である。
言葉と体が連動し言葉どおり心を込めてお辞儀をする。